

平成28年度 第2回 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 議事録

日時： 平成28年10月26日（水）午後4:00～

場所： 校長室 記録： 羽鹿 守

配付資料一覧

- 1 平成28年度 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 配席図
- 2 平成28年度 学校経営計画
- 3 学校説明会リーフレット
- 4 ホームページリニューアル後の推移について
- 5 12期生 進路状況一覧
- 6 第1回授業アンケート結果概要
- 7 第1回授業アンケート教科の振り返りまとめ

1. 学校長挨拶

- ・現在、大規模改修工事中。11月末に終了予定である。本館は外壁タイルの剥落防止処理等が続行中。古い空調設備の一部が更新された。体育館については8月末で既に終了しており、天井部の軽量化、照明器具を蛍光灯からLEDに変更等が行われた。
- ・中学生に向けた学校説明会は、第一回（7月9日）は3年生の卒業制作の授業を公開した。第二回（8月27日）は2年生の領域の授業公開と実技試験の①の体験講座を行った。
- ・第三回（11月5日）は実技試験の体験講座を予定している。来春卒業の中学生人口が昨年より10%減となることもあり、中学生の本校の説明会参加数は例年に比べ少ない。来春入学者数の確保について大変危機感を持っている。
- ・在校生の活動は例年同様活発であり、夏の「高校展」参加者数も、冬の「芸文祭」参加予定数も昨年度を上回っている。
- ・土曜日のデッサン講習会は、先行している2・3年生に加え、夏休み明けより1年生も始まった。学年200名中の80名が参加する等、意識の高さを感じられる。
- ・中止している海外研修旅行については、研修の場をイタリアから台湾に変更して1月に実施予定。本日より参加者への事前指導が始まった。
- ・平成29年11月には近畿高等学校総合文化祭と全国美術高校協議会が共に大阪大

会として開催される。会長職や事務局を本校が担うことになる。

2. 会長挨拶

- ・本日、難波パークスを見に行った際、もの作りを趣味とする人向けに、ワークスペースが造られていた。一般の方々がもの作りをする手助け・アドバイス等の言わばレッスンプロのようなことも、これから新しい仕事として増えていくかもと感じた。港南造形高校は15の専門分野から学べるということで、専門家を育てる環境を持っている。これからの期待したい。

3. 協議

(1) 平成28年度学校経営計画の進捗状況について

「1 創造的活動の源泉となる基礎学力と言語表現力の育成」について

(ア) について

学力診断テスト第1回と2回で上位ゾーンの生徒が33%増えた。

(イ) について

図書館利用、ICT機器の利用も増えている。数学の授業でも目で見えてわかるようにICT機器が活用できないか取組んでいる。また、言語表現力を鍛えるため、ビブリオバトル（書評合戦）やディベートの手法を取り入れて授業するなど、様々な工夫をしている。

(ウ) について

学力診断テストで下位層が40%減少した。

(エ) について

大学との連携によるもの、卒業生作家によるもの等、様々な講座を実施中である。学年単位で美術館・博物館を見学する機会も増やしている。現時点で目標回数を上回っている。

「2 将来展望が持てる進路指導の実現」について

(ア) について

作家としてドイツを中心に活躍している塩田千春氏（港南高校5期）を招いた講演会は、放課後にも係らず200名を超える生徒の参加があった。もの作りが将来にどうつながるかということに関心が高い。

(イ) について

センターテスト受験予定者に対して、放課後や土曜日講習、長期休暇中の講習会を継続的に実施中。

(ウ) について

回収時期を遅くしたため、昨年度より回収率は若干落ちた。時期を早めれば率は上がると思われるが、アンケートの意図が外れてしまう。

(エ) について

年度途中のため、第3回で報告予定。

「3美術造形教育センター校としての役割」について

(ア) について

8月23日(火)に実施。今年は中学校が減り、小学校が多かった。

(イ) について

高校展・芸文祭共に昨年度を上回る参加人数になる予定。

(ウ) について

大規模改修工事中、空調機器等の更新ができた。

(エ) について

HPの全面リニューアルがほぼ完了した。

委員 小中学校教員対象実技研修会の内容は？

事務局 「小学校」の方は、授業内容や指導上のヒントを求めておられる印象。元府美研会長から、教鞭をとってこられた経験談や、いくつかの課題を実際に制作しながらポイントを指導していただいた。子どもたちの作品例も見てもらえて、盛りだくさんである。別の講座では画材業者から用具の使い方や制作指導のヒントを講演してもらっている。

「中学校」は授業内容のヒントだけでなく、ご自身のもの作りに対する刺激を求められている場合もあるので、本校教員が15の専門分野を土台として8前後の講座を開いている。授業等で利用できるものから少し専門的(専用の用具が必要等)なものまである。

委員 各地で町おこしのイベント的に文化祭のようなものがあるが、そのようなものとの連携のようなものはないか。名村造船跡地とか水都大阪とか、そのようなものとの連携とか。

委員 水都大阪の立ち上げの時には芸術祭のようなものをめざしていた。でもだんだんアートの部門がなくなって、水辺で遊ぼうというイベントになっている。だからそのような連携は難しい。

校長 外部との連携という点では、大阪工芸協会と連携して、工芸展を見学したり、その道のプロの方に教えてもらったりもしている。

事務局 水都大阪では最初のほうでは、大阪の千成ヒョウタンをテーマに、園芸高校が栽培したヒョウタンに絵をかいたりするイベントで参加したこともある。

また、住之江区のイベントに似顔絵かきのコーナーで参加したり、府の人権局の広報の図案を提案したり、産業教育フェアに参加したりはしている。

しかし、一方で学校の勉強もあり、両立していくことは難しい。

委員 参加している外部のコンクールとかで特徴的なものはあるか。

事務局 「緑のトラスト」のピンバッジの図案は毎年している。ほかにも大阪芸大や、大阪成蹊大学が実施するコンペにもよく参加している。ほかにも DAS(総合デザイナー協会)学生デザイン賞にも参加している。

校長 昨年の携帯電話のフィルターキャンペーンのポスターや、近畿総体のフライヤーなどにも出展している。

委員 大学で外部講師を招いた講演会等を開催した時、生徒たちに質疑応答の時間があるから発問するよう、予告してあったにもかかわらず、質問ができないのを見て驚いている。コミュニケーション能力とかいうが、仲良しの小集団で発揮できても、200人の大集団では全然発揮できない。これが現状だ。

委員 型があると、発言もするけれど、自由に語らせると、あまり話さない。

事務局 先日の塩田氏の講演会では、生徒200名以上が参加した。質疑応答も、活発に1時間以上続いた。校内での講演会だからというのもあると思う。

委員 小学校では図工の先生が必ずしも専門ではない。絵の具の混色なども教えられないのが現状である。

小学校教員の研修会では、専門的なことよりも、誰でも取り組めるような内容や、道具のメンテナンスなど基本的なことを掲げると、もっと集まるのではないか。

4. 報告

(1) 中学生へのアピールについて

*学校説明会等の変更について

第4回目(12月11日予定)は、例年は、前3回の説明会に参加できなかった方向けの小規模のものであったが、今回は実技試験を体験できる「ガッツリ実技対策講習会」としておこなう。大阪府内の入試で実技のある高校は、同一内容の試験なので、この機会にしっかり対策して不安を和らげてもらいたい。

*学校ホームページについて

リニューアルはほぼ完了した。アクセス数も増えている。本校のことを広く知っていただけるように、今後も更新を続けていく。

(2) 12期生の進路状況について

就職希望者については今年度は6名でスタートし、現時点で全員希望を果たした。
進学希望者について、昨年との変化は、「AO入試」合格者の数が減り、「指定校推薦入試」合格者が増えている点。

(3) 第1回 授業アンケートについて

専門高校であるので「造形」が高い数値になるのは当然だが、他教科も興味を持たせられるよう努力している。

各教科の振り返りでは、アンケートの実施方法等への疑念はあるものの、結果を前向きに受け止めて、授業改善を図っていくというものだった。

委員 この振り返りは全教員で共有できているのか。

事務局 この後共有する予定である。

(その他)

委員 地域の現状について、報告しておきたい。

体育館東側の市民グラウンドは、平成30年3月までに再整備される。

また、学校前の歩道には平成29年3月までに防犯カメラが2機設置される。安全安心のために役立つと思う。

1. 事務連絡

次回学校協議会の日程調整について等。

以上